

5年生 藤の台図エワークシート② 風神・雷神はなにをしているの？

名前（ ）

風神・雷神図屏風(ふうじん・らいじんずびょうぶ)は国宝に指定されている日本絵画を代表する名作です。17世紀前半につくられたといわれ、その後、名だたる日本画家に2度も模写(もしゃ)されたことでも有名です。この風神・雷神図、よく見てみてください。あれ、、？神様同士がなにかしているような気がしてきませんか。会話を楽しんでいるのかな？踊りを踊っているのかな？なにかを自まんしあっている？うわさ話でもり上がっている？それとも、もっとちがうこと？風神・雷神がしていることを楽しく考えてみよう。※お家の人といっしょに考えても面白いかもしれません。



風神・雷神は何をしているかな？考えたことを書いてみよう。

--

5年生 藤の台図エワークシート③ 八百万の神 ～日本の色々な神様たち～

名前（ ）

日本では「八」は「多い」という意味で使われており、八百万(やおよろず)は無限に多いということを表した言葉です。日本では古くから自然物や自然現象、思考、人物、物質、創造主など様々なものを神格化し「多くの神様」を崇め(あがめ)奉り(たてまつり)ました。この事から、数え切れないほどいる多くの神様を「八百万の神」というようになったのです。千と千尋の神隠し(せんとちひろのかみかくし)という映画は知っていますか？あの作品にも色々な神様が登場しますね。

日本の神様について、調べてみましょう。八百万の神様や、日本の神様と検索すると色々な情報が出てきます。調べていてわかったこと、思ったことを自由に書いてみましょう。絵を描いてもいいですよ。